

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般-102

学校名・団体名	須崎市立南小中学校
HPアドレス	<a href="http://www.kochinet.ed.jp/minami-j/index.html">http://www.kochinet.ed.jp/minami-j/index.html</a>
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	地域ぐるみの小中一貫教育による防災教育推進
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>（1）〈教科と学校行事における防災教育〉 教科に防災教育の視点を入れた授業改善及び小中一貫校の特性を生かした学校行事の実施を行う。</p> <p>（2）〈ねらい〉 学習指導要領を熟読し、各教科を教えるときに、担当の教員がその教科の特性を生かし、防災教育と関連した単元で、1単位時間のうちで、防災教育の推進という思いをもち教科等の授業を実施していき、防災の視点を入れた小中一貫校での学校行事の改善を図る。</p> <p>（3）〈活動の特色〉</p> <p>①校内研の組織を「授業づくり部会」「仲間づくり部会」「体力づくり部会」の3つに小中教職員が分かれて入り、小中学校9カ年で南小中学校の児童生徒を育てる。</p> <p>②外部講師を招聘し、校内研修を実施することにより、知・徳・体のバランスのとれた教育を行い、生きる力を育成する。</p> <p>③学校・家庭・地域が連携・協働し小中一貫校の特性を生かし、防災教育を推進する。</p>	

(1) 教科における防災教育の推進。

小中共通校内研究主題：「小中一貫教育の推進」

～ 知・徳・体の向上を目指して ～ ～ 生きる力を育む防災教育・キャリア教育 ～

① 「授業づくり部会」

- ・学力の向上
- ・関わりあって学ぶ力を育てる
- ・言葉の力を育てる (言語活動の充実)
- ・教科による防災教育・キャリア教育

② 「仲間づくり部会」

- ・よりよい人間関係の構築
- ・防災教育・キャリア教育の視点を入れた授業の推進

③ 「体力づくり部会」

- ・体力の向上による防災・キャリア教育の推進
- ・基本的な生活習慣の確立
- ・自己管理のできる児童・生徒の育成

(2) 外部講師招聘による校内研修の実施。

「事前研究・事後研究の進め方」：ワークショップ型の導入

(「概念化シート」「指導案拡大シート」「マトリクス法」等を活用し協議する。)

全員が研究授業を実施して授業改善を目指す。授業研究は、事前研究→授業研究(研究授業の実施 100%)→研究協議と流れ、概念化シート、指導案拡大シート、マトリクス法を導入し、ワークショップ型の研究協議を行っている。成果・課題・改善策について話し合い、グループからの報告を受け、多く出された項目の中から、本授業を通して見えてきた成果と課題を、全員が共有し、日々の授業の中に生かせるようにする。本年度は教科の中に防災教育を位置づけた実践をしており、研究の再構築をしてきた。

平成28年度 校内研究授業計画

実施日	授業者	研修内容 (授業研)	講師
5/19 (木)	中越美智子	中2国語：字のない葉書／卒業ホームラン	中部教育事務所指導主事
6/6 (月)	谷岡 忠志	中2理科：刺激と反応	中部教育事務所指導主事
6/7 (火)	松岡 純子	中2音楽：夏の思い出、花の街	中部教育事務所指導主事
6/10 (金)	中井 和重	中3英語：現在完了形の文の学習	中部教育事務所指導主事
6/15 (水)	森 かおり	中2数学：連立方程式	中部教育事務所指導主事
7/13 (水)	山田 啓子	小5-2、6-2 国語：僕らの避難路調査「防災」	日高養護学校教諭
7/13 (水)	成岡 朗子	小1-2 国語：避難訓練の写真を見て文をつくる「防災」	日高養護学校教諭
9/28 (水)	堀内 美佐	小4・5 特活：我が家の備えを考えよう「防災」	中部教育事務所指導主事
10/4 (火)	林 昭江	小1生活：いっしょにあそぼうおもちゃランド	中部教育事務所指導主事
10/4 (火)	谷岡 忠志	中1理科：蒸留の実験	中部教育事務所指導主事
11/8 (火)	中越美智子	中2国語：枕草子、徒然草	中部教育事務所指導主事
11/9 (水)	森 かおり	中2数学：一次関数	中部教育事務所指導主事
11/11 (金)	中井 和重	中3英語：基本表現を使つての英会話	中部教育事務所指導主事
11/15 (火)	氏原 亜佑	小6道徳：生きることのすばらしさ「防災」	中部教育事務所指導主事
1/16 (月)	松浦 毅	小2・3道徳：東日本大震災の津波の地域被害「防災」	尾川小学校教頭



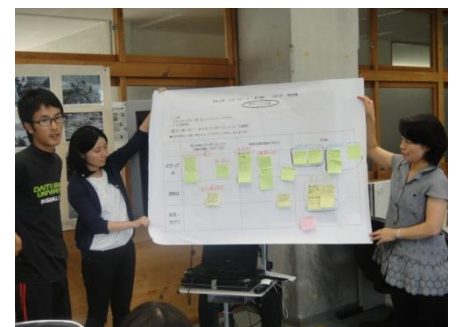
【校内研修：授業研究】

防災の視点を入れた指導案を作成し、校内研修を実施した。



【ワークショップ型事後研修】

概念化シート、指導案拡大シート、マトリクス法を導入し、事後研を実施した。



【ワークショップ振り返り】

成果・課題・改善策を全員で共有し日々の授業改善に生かした。

(3) 学校・家庭・地域が連携協働し、小中一貫校の特性を生かした防災教育の推進。



【地震津波の避難訓練】



【地域人材を活用した田植え】



【稲刈り】



【高齢者弁当用にお米の贈呈】



【地域の消防団によるプール掃除】



【消防署員来校の着衣水泳】



【防災種目を取り入れた運動会】



【親子でのカン拾い、環境保全】



【地域の伝統文化の花取り踊り】



【学校・家庭・地域合同の地域防災訓練：HUG、人工呼吸、消火訓練、おにぎりの炊き出し訓練】

【成果と子どもたちの変容】

(1) 地域ぐるみで行う小中一貫教育の推進。

- ・9カ年の小中一貫校の特性を生かし、学校・家庭・地域が連携、協働して防災教育を推進することにより、子どもたちの中の自尊感情が高まり、地域の一員としても自覚が芽生えてきたことが成果である。
- ・地域に愛され、一人一人が大切に育てられている子どもたちは、将来の夢や希望に向けて意欲的に物事に取り組むことが多くなった。

(2) 生きる力を育む防災教育の推進

- ・各教科の中に防災の視点を入れた通常の授業を受けることにより、子どもたちの防災意識の向上が見られた。
- ・地域に開かれた学校運営を行うことで、学校を核とした協働の取り組みを通じて、地域の将来の人材を育成し、自立した地域社会の基盤を固める「学校を核とした地域づくり」の取り組みを図ることができた。